

淀川唐崎ワンド観察会を行いました

H30.6.4

～淀川河川事務所～

淀川では、多様な生物の生息・成育・繁殖環境の再生を目的に、自然再生事業としてワンドの整備を行っています。今回は、整備したワンドにおいて、どのような生物が生息しているか NPO・高槻市と整備局職員が連携して地域住民と観察会を行いました。

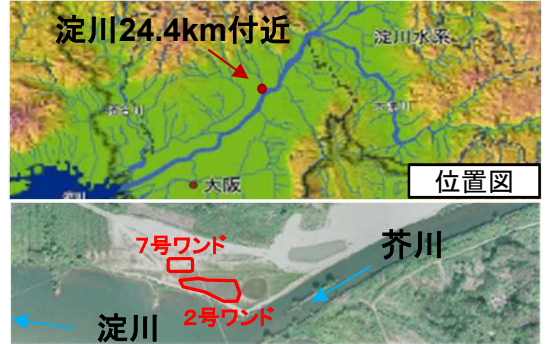
活動概要

○芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～(愛称:芥川倶楽部)が主催で唐崎ワンド観察会を行いました。

○日時:平成30年6月2日(土)午前10時～12時

○参加人数:約30人

○会場:高槻市唐崎7号、2号ワンド(淀川24.4km付近)



観察会のようす

○実際にワンド内に入り、水中の生物を採取しました。当日のワンドは水位が低かったため、ワンド全体で熱心に生物採取に励む参加者もおられました。



多くの方に集まっていただきました。

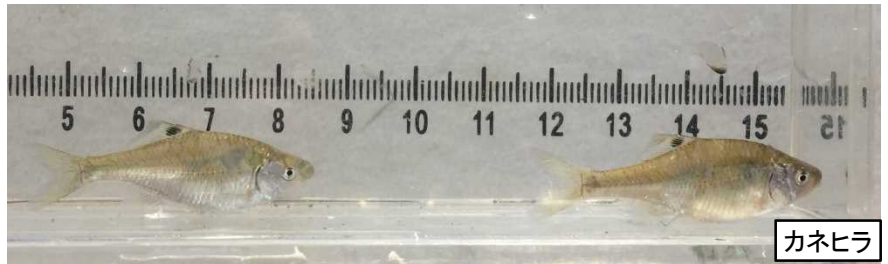


胴長や網を使用し生物を採取しました。



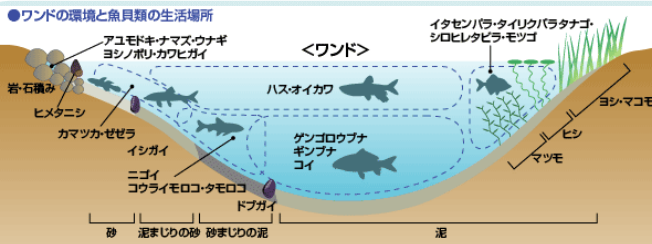
専門家の方から解説を受けました。

～唐崎ワンドに生息していた生物～



その他確認した種

- ・ギンブナ、ニゴイ、ブルーギル
- ・テナガエビ、スジエビ、ヌマエビ
- ・イシガイ
- ・ヤゴ、イトトンボ、シオカラトンボ



専門家からは採取した生物について、名前や特徴など、くわしく説明していただきました。

ワンドは淀川における固有種を含む多様な在来生物の生息・成育・繁殖に重要な水陸移行帯です。今回の観察会では淀川の代表種であるイタセンバラの産卵母貝である二枚貝を見つけることができました。今後に期待できそうです。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 河川環境課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2-10
TEL 072-843-2861 (代)

